

## 評価・育成システム改革ワーキンググループ（第3回）

と き 平成24年4月27日（金） 午後3時30分～

ところ 府庁別館5階 委員会議室

（次第）

- 1 支援学校における授業評価のあり方
- 2 授業評価の教員評価への反映方法について
- 3 意見交換
- 4 次回の開催日程等について  
（予定）5月11日（金） 午後3時30分より  
新別館南館7階 研修室6

## 配布資料

### 【資料1】 支援学校の授業評価の手法（案）

- ・《参考資料一1：生徒による授業アンケート》  
平成23年度 授業評価に関するアンケート（前期・後記）
- ・《参考資料一2：学校協議会委員による授業見学アンケート》  
平成23年度 授業見学及び学校見学アンケート

### 【資料2】 授業評価を含む教員評価について（案）

### 【参考資料】 授業評価資料

## 支援学校の授業評価の手法(案)

評価・育成システム改革ワーキング会議 (H24. 4. 27)

## ◇支援学校の現状

- ①学校内で幼児児童生徒の年齢幅、発達段階、障がい種別が異なる
  - <例>視覚支援学校：幼稚部から高等部専攻科
  - <例>羽曳野支援学校母子保健総合医療センター分教室：ICUの児童生徒  
近大堺病院分教室：心身症等の児童生徒
  - <例>堺支援学校小学部、中学部、高等部普通課程：重複生徒が多く在籍  
高等部生活課程：障がいの状況が軽度の生徒も在籍
- ②支援学校間で障がい種別が異なる  
視覚障がい (1)、聴覚障がい (3)、知的障がい (11+5)、肢体不自由 (8)、病弱 (2)
- ③校長、准校長の管理スパンが大きい  
<例>佐野支援学校と佐野支援学校砂川校あわせて 200 人近い教職員について校長、  
准校長の 2 人で評価

## ◇授業評価における支援学校の課題とその対応策

- ①幼稚部、小学部の幼児児童による授業評価⇒幼児児童による評価が困難な場合は保護者による評価を基本とする
- ②重度・重複児童生徒による授業評価⇒保護者による評価を基本とする
- ③施設入所児童生徒の保護者による授業評価⇒可能な限り施設長等の協力を得る
- ④同じ学習グループに所属していても、幼児児童生徒一人ひとりについては個別の目標設定がなされている中での授業評価⇒授業参観を活用した保護者による評価の実施
- ⑤支援学校で多いティーム・ティーチング (TT) におけるメインの担当者とサブの担当者の授業評価⇒同僚による評価の実施

◇支援学校の授業評価の手法について(一定の枠を示しつつ校長・准校長の裁量を認める)  
<児童・生徒評価>

- ①小・中学校、高等学校の授業評価と同じものを実施
- ②児童生徒の実態に応じて、下学年対応で実施
- ③児童生徒の実態に合わせた類型別の授業評価を作成・実施
- ④児童生徒の実態により、児童・生徒評価は実施せず、保護者・同僚評価を実施。

## 【検討例】

- ・視覚支援学校、聴覚支援学校、病弱支援学校：重複児童生徒を除き、小・中学校、高等学校と同様にする (①)
- ・たまがわ高等支援学校等：高等学校の生徒による授業評価の活用、生徒の状況によって下の学年の評価を活用して対応することも可 (①又は②)
- ・知的障がい支援学校職業コース：生徒の実態に合わせて小・中学校、高等学校の授業評価を活用して対応 (②又は①)
- ・その他の支援学校(コース)：支援学校として生徒による授業評価の共通の項目をつくる (③、①②を含む) (但し、児童生徒の実態により、児童・生徒評価は実施せず、保護者・同僚評価を実施。④)

## &lt;保護者評価&gt;

- ・保護者の授業評価は、授業参観時に加え、個別の教育支援計画・個別の指導計画作成時の家庭訪問や個人懇談を活用して実施。

## &lt;同僚評価&gt;

- ・公開授業等での同僚からの評価(首席や指導教諭等の活用)を実施。支援学校では教員数が多いのでデータとしての有効性が高く、同僚評価の比重引上げについて検討要。

平成23年度 授業充実に関するアンケート(前期・後期)

【様式 1】

教科・科目[ ] 本科・専攻科 \_\_\_\_\_年 名前\_\_\_\_\_

このアンケートは、普段の授業について記入してもらい、これをもとによりよい授業づくりに役立てるものです。アンケートの結果は、生徒のみなさんの成績に影響を与えるものではありませんので、率直に回答してください。なお、わからない質問については回答しなくてもかまいません。

☆下の質問をよく読んで、右の回答欄のA、B、C、Dのいずれか1つを選んで、○で囲んでください。

( A:あてはまる B:だいたいあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない )

質 問		回 答 欄
授業 に 対 す る 自 分 自 身 の 取 組 み	1 いつも教科書やノートを始業前に準備している。	A B C D
	2 毎回の授業に集中できている。	A B C D
	3 授業の開始時間を守ることができる。	A B C D
	4 宿題や課題の提出期限を守ることができる。	A B C D
	5 授業の予習・復習に取り組んでいる。	A B C D
	6	A B C D
	7	A B C D
	8	A B C D
授業 に つ い て	1 授業や実習のスピードは、自分に合っていますか。	A B C D
	2 授業や実習の内容はわかりやすいですか。	A B C D
	3 先生は、質問にていねいに答えてくれますか。	A B C D
	4 先生は手話や他の方法(ゆっくり話す、黒板に書くなど)で、ていねいに伝えてくれますか。	A B C D
	5 黒板の書き方や配布プリント、プレゼン資料は工夫されていますか(見やすい、わかりやすいなど)。	A B C D
	6	A B C D
	7	A B C D
	8	A B C D
自由 記 述 欄	授業全体をとおして、意見や要望があれば自由に書いてください。	
	(46)	

平成23年度 第2回学校協議会

学校協議会委員 授業見学及び学校見学アンケート

1. 初任者授業について

①学習内容は個々の生徒の発達レベルに合った課題と思われますか？

- ・はい      ・いいえ      ・どちらともいえない      ・わからない

②児童、生徒は学習活動に生き生きと取り組めていましたか？

- ・はい      ・いいえ      ・どちらともいえない      ・わからない

③教員の指導は児童生徒にとって分かりやすいと思われましたか？

- ・はい      ・いいえ      ・どちらともいえない      ・わからない

④教員は児童生徒が理解しやすいように工夫していると感じられましたか？

- ・はい      ・いいえ      ・どちらともいえない      ・わからない

⑤課題や教材の提示の仕方は児童生徒にとって分かりやすいものでしたか？

- ・はい      ・いいえ      ・どちらともいえない      ・わからない

⑥初任の先生に大切な要素についてどのように思われますか？

(      ) 内に順位をお付けください。

- ・障がいに対する知識理解 (      )
- ・支援教育に対する専門性 (      )
- ・児童生徒への熱意と愛情 (      )
- ・保護者と連携する能力、態度 (      )
- ・支援教育に対する探求心、研究心 (      )
- ・支援教育の授業をおこなうスキル (      )
- ・他の教員との協調性 (      )
- ・その他 (      ) (      )

⑥その他 (ご質問、ご感想等がありましたらご記入ください)

裏面の校内全体を見学されたアンケートもよろしく願いたします。

## 2. 校内見学について

### ①児童生徒、及び教員の様子について

- ・児童生徒は生き生きと活動していると思われませんか？（見られた他の授業全般）
  - ・はい
  - ・いいえ
  - ・どちらともいえない
  - ・わからない
- ・児童生徒は楽しく学校生活を送っていると思われませんか？（授業以外の様子）
  - ・はい
  - ・いいえ
  - ・どちらともいえない
  - ・わからない
- ・児童生徒の安全に学校生活をおくれていると思われませんか？
  - ・はい
  - ・いいえ
  - ・どちらともいえない
  - ・わからない
- ・教員は児童生徒の人権に配慮した接し方を心がけていると思われませんか？
  - ・はい
  - ・いいえ
  - ・どちらともいえない
  - ・わからない
- ・教員は児童生徒の目線にたった指導、支援、介助に心掛けていると思われませんか？
  - ・はい
  - ・いいえ
  - ・どちらともいえない
  - ・わからない

### ②環境について

- ・教室内は学習活動に適した環境と思われませんか？
  - ・はい
  - ・いいえ
  - ・どちらともいえない
  - ・わからない
- ・(いいえ) とお答えの方は下記にどの点にそう感じられたのかご記入ください。

- ・廊下、階段等に危険箇所はありませんでしたか？
  - ・はい
  - ・いいえ
  - ・わからない
  - ・どちらかといえば危険箇所があった
- ・危険箇所にお気づきの方は下記にご記入ください。

- ・学校全体を通してお気づきの点がありましたらご記入ください。

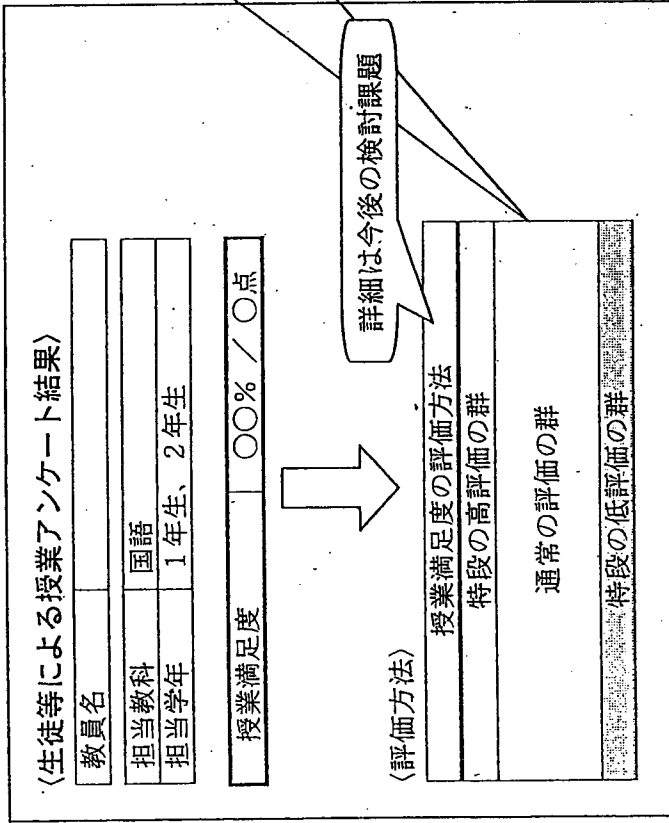
以上、本日はご多用のところありがとうございました。

授業評価を含む教員評価について (案)

授業評価は、授業アンケートの結果を活用した生徒又は保護者 (生徒等) による授業評価を踏まえ、校長・准校長及び教頭 (校長等) による授業観察等を基に、校長の総合的な判断により行う。

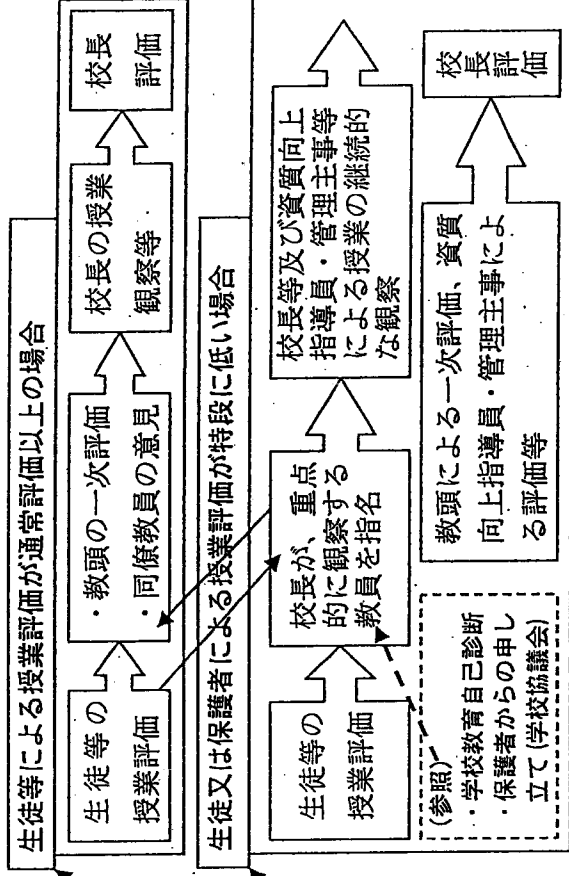
1 生徒等による授業評価の実施方法

所属学校の授業アンケート (7月) の集計結果を参照し、当該教員の授業評価を行う。  
アンケート項目は、別紙の総合評価を用いる。



2 校長・准校長の授業評価

(1) 生徒等の授業評価への対応



(2) 授業観察での評価方法

○ 別紙の授業の観点表 (総合評価を除く 10 観点) により評価する

〈評価方法〉

高評価の数	
評価 SS	10 個
評価 S	8 個以上 9 個以下
評価 A	4 個以上 7 個以下
評価 B	2 個以上 3 個以下
評価 C	1 個以下

評価結果 SS S A B C

観点の設定と扱いについては今後調整が必要。

(別紙)

■ 授業評価規準表 (抜粋) (高等学校課作成) の授業評価での活用

1 授業観察に活用する項目

評価軸	番	評価項目	チェック
生徒理解	1	授業の難易度や進度は、生徒の状況に合わせたものになっている。	
	2	机間巡視をするなど、生徒の理解度や学習意欲を把握しようとしている。	
授業計画	3	毎回授業のはじめに、授業の目標やねらいを明確にしている。	
	4	評価方法を示すとともに、生徒の様々な面を適切に評価している。	
教材活用	5	教科書のほか理解に役立つプリントや補助教材を効果的に活用している。	
	6	使用する教材について深く理解しており、生徒の質問にも的確に答える。	
授業展開	7	大きな声で分かりやすいことばを使って、説明したり質問したりする。	
	8	板書は、字も大きくていねいで、内容も整理されており分かりやすい。	
授業分析	9	生徒に分かる授業をしようという、熱意や意欲をもっている。	
	10	生徒の意見や要望を取り入れるなど、常によりよい授業を行うことに努めている。	

2 生徒等による授業評価に活用する項目

総合評価	11	授業を受けて、科目に対する興味・関心が一層深まった。
	12	授業を受けて、知識や技能の習得を実感している。
	13	「魅力的な授業」「わかる授業」であると感じている。